

## 行政視察報告

### 総務委員会

十月一日～三日に、北海道むかわ町・余市町・苫小牧市の研修を行った。むかわ町防

災無線では、平成十八年三月二十四日から供用し、定時と緊急放送に区分され、実績は放送内容三十件の四十五回使用とのことである。未整備地区には、今後光ファイバーケーブルで今年四月から供用するとのことであった。

余市町での男女共同参画条例は、平成十九年四月一日から施行され、審議会を置き委員数は十人以内で「男女いずれかの委員数は総委員数の十



苫小牧市女性センター

分の四未満であったとはいけない」との規定を設けていた。

行財政改革では、施設利用等の減免基準の見直し、補助金の廃止又は減額、採用職員数の抑制、管理職手当の50%削減、議員・特別職・職員の期末手当の0・55カ月削減をしていた。

苫小牧市での男女共同参画条例は、平成十九年四月一日から施行、しかし市民や事業所への情報提供や啓発活動の取組が十分でなく、問題点があるとのことであった。

自治基本条例は、平成十九年四月一日から施行、しかし内容についての理解度が浅く、条例の趣旨や市民主体のまちづくりに対する職員の理解の低さと認識不足の問題点があるとのことであった。

### 民生文教委員会

十月十六日～十八日に、木更津市・調布市・杉並区の研修を行った。

木更津市では、高齢者福祉、障害者への支援対策、子育て支援、母子・福祉対策について、伊予市の現状を踏まえ研修を行った。



杉並区立第七小学校

調布市では図書館事業につ

いて研修し、中央図書館を視察、充実した施設と取組に感動した。その後、調布小学校（※PFI方式・市民開放型施設）を視察、校内に市立図書館分館を設置し、音楽室と地下の温水プールを一般開放している。生涯学習の場として共用の会議室、談話室等を設置し、授業形態はオープンスクールで実施しており、学年毎に多目的室を配っていた。

杉並区では学校の緑化、校庭の芝生化について研修、第七小学校を視察した。エコスクールの推進として、校舎壁面緑化や教室へ夜間の冷気を送り込むナイトパーゴラや屋上緑化も、校庭の芝生化と共に

強く印象に残った。

※PFI方式とは  
公共施設等の建設・維持管理・運営等を民間の資金、経営能力及び技術能力を活用して行う新しい手法

### 産業建設委員会

十月九日～十一日にかけて、宮城県名取市の駅前周辺整備事業及び中心市街地活性化について、石巻市では指定管理者制度について調査した。

名取市制を敷いた昭和三十三年当時三万三千人であった人口は、企業の進出や宅地開発により、現在六万九千五百三十三人、二万四千二百八十九世帯となっており、土地区画整理事業や公共施設の立地により、十万人都市を目指している。

平成七年から十年にかけて西口駅前広場を、十一年から十五年にかけて東口駅前広場を総事業費は、二十九億五千百三十三万円で、完成駅舎は橋上駅として線路上空に利用者に分かりやすく、使いやすいように整備されていた。人口・交通量こそ違いますが、交通節点となっている伊予



名取駅前広場

市駅周辺のユニバーサルデザインを考慮した整備の参考となるものであった。

名取市中心市街地活性化基本計画が策定され、都市機能の集積、魅力的なまちを基本理念に取組んでいた。

石巻市の指定管理者制度は、今後積極的に指定管理者へ移行、使用料や利用料について今後整備する必要があるとのこと、集会所が百二十二カ所、市の管理施設が約六百カ所あるとのことであった。